

特集「安全・安心」の発行に寄せて

佐々木 貴司

現代社会はITの進歩により、私たちの生活のあらゆる側面でITを活用したシステムが利用されている。経済、教育、医療、交通など、社会基盤となる多くの分野でITシステムが中心的な役割を果たし、私たちの生活に不可欠なものとなっている。しかし、このITシステムの普及と深化は、私たちの社会に新たな課題をもたらしている。安全性、信頼性の確保である。

安全性は、利用者のデータを保護し、不正アクセスやデータ漏洩などのリスクから利用者を守る能力を指す。これには、適切なセキュリティ対策とプライバシー保護の対策が必要である。また、法的規制や業界の基準を満たしていることも確認する必要がある。一方、信頼性は、システムが予想される動作を正確に、そして一貫して実行する能力を指す。これは、システムがエラーなく、予期しない停止なく動作し続けることを意味する。

これらの要素が欠けていると、ITシステムはその目的を果たすことができず、利用者に混乱や不安をもたらすだけでなく、重要な情報が失われたり、情報が漏洩したりするリスクもある。これらの問題は組織にとって重大な損失をもたらすだけでなく、その評価や信頼性にも大きな影響を及ぼす可能性がある。現代社会において、ITシステムの安全性と信頼性は非常に重要であり、これらを保持し、維持することは、社会的価値の向上に大きく寄与すると考えられる。これは私たちITシステムに関わる関係者すべてにとって重要であり、真剣に取り組んでいくべき課題である。

弊社においても、2022年6月には情報流出につながりかねない大きな事故を起こし、顧客や関係者、さらには社会全体にも大きなご迷惑とご心配をおかけすることとなった。どの組織もITシステムと無縁ではられない現在社会において、ITシステムに関わる事故や事件が発生するリスクは常に存在している。その対策と適応を継続的に見直し、改善していく重要性を、この事故は改めて我々に認識させることとなった。

この事故の後にも、2023年11月には弊社のセキュリティ設定の不備により、システム開発用クラウドサーバーにおいて、お客様情報等の漏えい及び漏えいしたおそれがあることが確認される事案が発生した。

BIPROGYグループは重要な社会基盤となるITシステムを構築、提供する企業として、これらの事故を教訓に、これまで以上にITシステムの安全性と信頼性の確保に取り組み、顧客と社会が安心して利用できるITシステムの提供を目指している。さらに、ITシステムの安全性、信頼性の確保は当然のこととして、ITシステムを構築し、提供するプロセスにおいても、安全・安心を高めることに注力している。ここでの安全・安心とは、顧客が、想定外の遅延や中断、大幅なコスト超過などの事故なく安全に、安心してITシステムの構築をBIPROGYグループに依頼できることを意味している。

ITシステムを構築するプロセスにおいては、そのシステムで達成したい目的を明確にし、

全体像を明らかにした上で、それを構築するまでの計画を漏れなく網羅的に作成し、プロジェクトとして実行していく必要がある。プロジェクトの実行においては、その状況を見える化し、常に確認しながら、必要に応じて計画や体制の変更を判断していくこととなる。これらのプロセスを定義し、確実に実行していくことが、ITシステム構築における安全・安心につながり、安全・安心なプロセスの中で、ITシステムの安全性、信頼性が確保されていくと考えている。

本特集では、ITシステムの開発と運用において、安全性と信頼性を確保し、安心して利用できるシステムを、安全・安心なプロジェクトで構築、運用するためのBIPROGYグループの取り組みを紹介する。

近年、急速に普及しているクラウドサービスの利用や、DXの一環としてのデジタルサービスの提供における安全性、信頼性の確保について紹介する。これらは2023年11月の事故にも関係する内容であり、ここで紹介する内容のさらなる徹底を進めている。また、2022年6月の事故を教訓に、BIPROGYグループでは世界最高水準のセキュリティを目指すための取り組みを継続しており、これについてもぜひ知っていただきたいと考えている。加えて、ITシステムを提供するパートナーとして、BIPROGYグループに安心してプロジェクト運営を任せていただくために取り組んでいる、事故のない安全なシステム構築の仕組みづくりについても紹介する。

本特集の内容が、ITシステムに関わる多くの関係者の「安全・安心」につながる、新たな気付きや学びになることを切に願っている。

(常務執行役員／CDO)